

入学式で白糠高吹奏楽部

新入生のスタート祝福

地域の吹奏楽団と合同演奏

【釧路発】白糠高校（佐野住夫校長）

の吹奏楽部は4月上旬、同校で挙行された入学式で、町内で活動する一般団体「白糠吹奏楽団」（門馬洋団長・団員数20人）との合同演奏を実施。新入生18人の入学を祝った。

同校は生徒数の減

少に伴い、吹奏楽部員も激減。例年、入学式で入退場時の演奏を担当していたが難しい状況に。学校運営協議会委員から、教員数も少なく部活動にも限界があるとした上で「地域の様々な団体と一緒に活動することで、生徒の意欲に 대응することができれば」との声が上がり、町内の吹奏楽団との合同演奏が実現した。

町内で活動する白糠吹奏楽団には、小学生から70歳を超える団員20人が在籍。幅広い年齢層で構成されている。当日は土曜日ということもあり、小中学生も演奏に参加するなど、多くの町民たちが新入生のスタートを祝福した。写真Ⅱ。

吹奏楽部部長の河原七海さん（2年）は「たくさんの人と演奏ができて良かつ



た。このような活動ができることを新入生に伝え、入部を考えてくれたらうれしい」と新入部員が増えることに期待を寄せた。

滝沢晶子教頭は「今回の取組は地学協働の第一歩。今後、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働する活動を積極的に展開していきたい」と話した。